



平成 26 年 3 月期～平成 28 年 3 月期 中期経営計画（新規）

平成 25 年 6 月 21 日

会社名 株式会社ケアサービス

コード番号 2425 JASDAQ（URL <http://www.care.co.jp>）

TEL：03-5713-1611

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 福原 敏雄

問合せ先責任者（役職名） 専務取締役（氏名） 大瀧 裕司

1 今後 3 ヶ年の中期計画

（１）当中期経営計画提出時点における前事業年度の総括（計画の達成状況、成果及び今後の課題）

（内容）

前事業年度の売上高は、ほぼ計画通りとなりました。利益面については、経費の削減を更に推し進めた結果、営業利益は計画比 124.4%、経常利益は計画比 129.7%、当期純利益は計画比 153.5%の達成となりました。

デイサービス施設の出店につきましては、収益性の高い立地に厳選した結果、計画 3 店に対し 3 店の出店となりました。

（２）中期経営計画の策定の背景及び概要

（内容）

①策定の背景

高齢者人口は今後も引き続き増加し続けると見込まれますが、新規事業者の参入等により競争は更に激化するものと想定されます。また、介護報酬は 3 年に一度改定が行われることとなっており、政府の厳しい財政事情のもと、今後も報酬抑制の傾向は継続していくものと考えられます。

上記のように弊社を取り巻く市場環境は一層厳しくなっていくことが予想されますが、弊社が従前から継続している、東京 23 区に介護事業所の出店を集中するドミナント戦略は完成しつつあり、介護事業の収益基盤は万全なものとなりつつあります。また、介護保険制度改定の影響を受けないエンゼルケア事業は、介護事業収益を補完しております。

②中期経営計画の概要

弊社は「介護からエンゼルケアまで」という形で、デイサービス・訪問入浴・訪問介護・居宅介護支援・福祉用具貸与・特定福祉用具販売・ハウスクリーン・サービス付き高齢者向け住宅運営・エンゼルケアと事業相互間でシナジー効果を生み出しやすい事業構成となっております。中期経営計画においては、弊社独自のこの事業構成をフルに活用し、大きなシナジー効果を生み出すことを目標として、各事業の戦略を定めております。なお、各事業の戦略は下記となります。

<介護事業>

- ・ドミナント地域における競争力の強化（ドミナント地域内での更なる新規出店、デイサービス店舗のスクラップアンドビルドによる効率化の推進）
- ・東京23区以外の首都圏におけるドミナント化推進
- ・エンゼルケア事業単独展開地域での介護事業展開

<エンゼルケア事業>

- ・効率の高い首都圏に比重を置き、事業所の配置を考え事業所を細分化しながらの事業エリア拡大と収益向上の推進
- ・福祉用具貸与とハウスクリーン事業を統合することによる、高齢者の生活支援サポートの充実

<サービス付き高齢者向け住宅事業>

- ・医療機関とのより緊密な提携のもと、関東圏での施設開設の推進

(3) 事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前提条件

(内容)

当中期経営計画は新中期経営計画の初年度にあたるため、進捗状況については該当ありません。

2 今期の業績予想及び今後の業績目標

(単位：百万円)

(%表示は対前期増減率)

		平成 25 年 3 月期 (実績)		平成 26 年 3 月期 (予想)		平成 27 年 3 月期 (目標)		平成 28 年 3 月期 (目標)	
		金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売 上 高	介護事業	5,063	4.0	5,680	12.2	6,418	13.0	7,528	17.3
	エンゼルケア事業	1,482	6.6	1,412	△4.7	1,434	1.6	1,459	1.7
	サービス付き高齢者 向け住宅事業	366	14.2	388	6.0	398	2.6	421	5.8
	合 計	6,912	5.0	7,480	8.2	8,251	10.3	9,408	14.0
営 業 利 益		393	8.4	317	△19.3	430	35.6	500	16.3
経 常 利 益		389	10.5	307	△21.1	420	36.8	491	16.9
当 期 純 利 益		244	76.3	175	△28.3	235	34.3	274	16.6

※平成 25 年 5 月 23 日に提出致しました平成 26 年 3 月期～平成 28 年 3 月期 中期経営計画の内容に一部誤りがありましたので、下記の通り訂正いたします。
訂正箇所は以下のとおりです。

平成 26 年 3 月期 (予想) 当期純利益 金額 171 (誤)

平成 26 年 3 月期 (予想) 当期純利益 金額 175 (正)

平成 26 年 3 月期 (予想) 当期純利益 対前期増減率△29.9% (誤)

平成 26 年 3 月期 (予想) 当期純利益 対前期増減率△28.3% (正)

平成 27 年 3 月期 (目標) 当期純利益 対前期増減率 37.4% (誤)

平成 27 年 3 月期 (目標) 当期純利益 対前期増減率 34.3% (正)

- ・ 業績予想及び業績目標の前提条件・数値根拠
(内容)

※ 平成 26 年 3 月期 予想

- ・ デイサービス新規出店 6 店舗を計画し、初年度赤字 80 百万円を見込んでおります。
- ・ デイサービス既存 51 店の稼働率アップ推進を図ります。
- ・ 昨年に引き続き、全従業員とその家族の幸せを願い、働く従業員の生活力向上を目指し、年収の増加を図っております。

※ 平成 27 年 3 月期 目標

- ・ デイサービス新規出店 8 店舗を計画し、初年度赤字 147 百万円を見込んでおります。
- ・ 前期デイサービス新規出店の 6 店舗の増収及び業績貢献を見込んでおります。
- ・ 平成 26 年 4 月 1 日より消費税の増税（現在の 5%から 8%への増税）が予定されております。これによる営業利益・経常利益への影響額 49 百万円を見込んでおります。

※ 平成 28 年 3 月期 目標

- ・ デイサービス新規出店 8 店舗を計画し、初年度赤字 147 百万円を見込んでおります。
- ・ 前期デイサービス新規出店の 8 店舗の増収及び業績貢献を見込んでおります。
- ・ 平成 27 年 4 月 1 日より消費税の増税（現在の 5%から 10%への増税）が予定されております。これによる営業利益・経常利益への影響額 81 百万円を見込んでおります。

以上